高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 言語文化

 教 科: 国語
 科 目: 言語文化
 単位数: 2
 単位数

対象学年組:第 1 学年 A 組~ B 組

教科担当者: (AB発展組:下岡) (AB標準組:日向) (AB基礎組:田鹿) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (高等学校 言語文化(第一学習社)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考えるカや深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	生涯にわたって読書に親しみ自己を向上さ

								1		#3 VI/
	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	話・聞	-	読	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元 「児のそら寝」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かに し、主として歴史的仮名遣いや古今 異義語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現 代に通じる話のおもしろさや人間描 写の巧みさを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに 記のおもしろさを伝え合おうとしている。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思表・判断・表現> ・読むこと			0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	0	0	0	7
	単元「絵仏師良秀」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かに し、主とと品詞の種類について、 文語のきまりを理解する。 【思考力文章に慣力、るともしろの特別が は、対策を表現力等】 古におけるまた説話から良秀の特異的 は、対策を表現力等としるの特異的 は、対策を表現がある。また説話がいる。 に関える。 に関えるに向から力、人間性等】 積極的に説話を読しるとしている。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・読むこと			0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表を解釈しているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	0	0	0	6
	定期考査						0	0		1
1 学期	単元「なよ竹のかぐや姫」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにとと増やし、活用の。 して活用。、大話用のいて、東語の世界である。、判断力、大性の世界である。、判断力に関連の対象とを対象を引きられたとと文を対象が表現力の世界観に作られたとを対象が表し、大きないのである。をでは、大きないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	<思考・判断・表現>			0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	0	0	0	6
	単元『伊勢物語』「芥川」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かに する。また「歴史の窓」と「筒井 筒」の課題を踏まえて、作品の歴史 的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話の中で和歌が果たしている役割を	<思考・判断・表現>				・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。				

	押さえ、歌物語の特徴と読み解き方 を、歌物語では感動の中心が歌にあ ることを理解し、内容や展開を的確 に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題 に沿って和歌の果たす意味を捉えよ うとしている。		0	・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容 や展開を的確に捉え、作品に表れているもの の見方や考え方を捉え、内容を解釈してい る。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿っ て和歌の果たす意味を捉えようとしている。	0	0	0	4
	定期考査				0	0		1
	単元 『枕草子』「中納言参り給ひて」 【知識及び技能】作品の歴史的・文化的背景を理解し、主として助動詞について、主まりを理解する。表現力等】自時の人を知がなれた随筆や大変を知り、また自由踏まえて、外域を知り、また自由踏まえて、内容を知り、また自由踏まえて、内容がでに向通しない。人間性等の見がでに向通しない。というないが、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・読むこと	0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古 典特有の表現、時間の経過などによる言葉の 変化について理解を深めている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や 展用を的確に捉え、作品に表れているものの 見方や考え方を捉え、内容を解釈している ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文 体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈 を深めようとしている	0	0	0	4
	単元 『土佐日記』「門出」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かに し、主として助詞について文語の まりを理解する。 【思考力、初の日記とは異なで、現場 最近では異なで、現場 最近での目記とは異なで、現場 と随筆意図を読み解す。 とに女性に仮託して踏まえて、内容 とまた女性に仮託して踏まえて、内容 にがしていて、の間性等】 学習の見いで、の目に といくのでは、といくのでは、またな性にのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 といくのでは、 にいていく。 といくのでは、 にいていく。 といくいく、 といくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいくいく	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・読むこと	0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古 典特有の表現、時間の経過などによる言葉の 変化について理解を深めている ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や 展開を的確に捉え、作品に表れているものの 見方や考え方を捉え、内容を解釈してい日記を き学習の見通しをもって虚構性の高い日記を 読み、対筆意図などについて積極的に批評し たり討論したりしようとしている。		0	0	8
2 学 期	定期考査 単元 漢文の学習 訓読に親しむ 【知識及び技能】 我が国の文化と外国の文化との関	・言葉の特徴や使い方		・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と 外国の文化との関係について理解している。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返	0	0		1
	係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知知識として、政事のはたらきと、英文を訓読するための基礎知知識とで、再読文字のはる。 ・漢文を訓読するための基礎の表現である。 ・漢文を訓読するための基礎の表現である。 ・漢文を訓読するためのと意味を習に向いました。 (学びに向かう力、人間性等】れからの学習に見通るをものにする。 【学びに対して表現したをものに対して表現した。 「学びに対して表現した。」	<思考・判断・表現> ・読むこと	0	り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得している。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている	0	0	0	6
	けようとしている。 単元 『故事成語』「蛇足」 【知識及び技能】 作品の歴史的・文化的背景を理解する。また故事成語葉となった話み、古典の言葉となっ言葉る。 【思考力、は野りに判断力えて理解す現力等】文章の種を、内容を解する。ものの解釈する。 【思表れている内容を解した。とめようとしている	<思考・判断・表現>	0	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と 外国の文化との関係について理解している。 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われ ている言葉が漢文に由来することを理解して いる ・故事成語の由来となった話を積極的に読 み、わかった内容を工夫してまとめようとし ている。	0	0	0	9
	定期考査				0	0		1

	出二 『往辞書』「もっ」 コナロ	く加熱ななど社会へ		十曲と注ととないが悪か立知のとよりの上	_	_	1	$\overline{}$
	単元 『徒然草』「ある人、弓を射するとをするとをできない。」 【知識及な増やし、語彙を豊かに射動の量を増やし、的背景を理理がある。また主として敬語について立語の歴史的・文化的では、大きないと、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないが、はないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、ないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、はないが、大きないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、は	・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現>	0	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 ・『枕音の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	0	0	0	6
学期	単元 『平家物語』「木曽の最期」 【知識及び技能】語句の量を増やし、語彙を豊かにし、「古典のしるべ」と読み合わせし、「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について解する。 【思考力、判断力、表現力等】合戦を主損として生まれた思想やを背景として生まれた思想やのありようを知らの本質を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 【学びに表れている無常観を粘り強くる。 【学びに表れている無常観を粘り強くる。」 「作品に表れている考えを広げたり深めたりしようとしている。		0	・典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。		0	0	9 1 合計
								70